

## 第6章 計画の推進について

### 1. 計画の周知

計画の推進に当たり、子育て家庭、子育てに係る事業者・関係団体をはじめ、多くの市民の理解と協力が重要であることから、策定した計画について、関係者や関係団体へ周知するとともに、広報紙やホームページなど様々な媒体を活用して、広く市民に周知します。

また、「子ども・子育て支援新制度」について分かりやすく知らせていくことが安心した妊娠・出産・子育てに結び付いていくと考えられるため、利用者の視点での情報提供に努めていきます。

### 2. 計画の推進体制

本市においては、質の高い幼児期の教育・保育及び子ども・子育て支援を提供するため、円滑な事務の実施を含め庁内関係部局間の密接な連携を図るとともに、県との間においても、教育・保育施設の運営の状況など必要な情報を共有し、共同で指導監督を行う等相互に密接な連携を図ります。

また、市民が希望する教育・保育事業を円滑に利用できるよう、市町村域を超えた利用を想定して、近接する市町村と連携を図り、迅速に調整等が行われるように努めます。

さらに、質の高い幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業を実施し、地域の実情に応じて計画的な基盤整備を行うため、行政と教育・保育施設の実施主体等が相互に連携し、協働しながら取組みを進めていきます。

一方、子ども・子育て支援において地域の中核的な役割を担う、認定こども園、幼稚園及び保育所は、地域子ども・子育て支援事業の実施主体と、子ども・子育て支援を行う実施主体同士相互の密接な連携が必要であり、そのための支援に努めます。

### 3. 事業等の実施状況、ニーズ等の定期的な把握

子どもの状況や子育て家庭のニーズは多岐にわたり、又、常に変化をしていきます。本計画を策定するに当たってもニーズ調査等を行いました。今後も子育て支援環境や社会情勢の変化などによりニーズも変わっていくことから、計画開始後の取り組みの実施状況と課題、子どもと子育て家庭のニーズを定期的に把握し、計画の見直しについて見極めを行っていきます。

#### 4. PDCAサイクルによる推進状況チェック

本計画は、計画に基づく取り組みの達成状況を継続的に把握・評価し、その結果を踏まえた計画の改善を図るといったPDCAサイクルによる適切な進行管理を行っていきます。

このため、計画の審議にあたった「うるま市子ども・子育て会議」が、今後、毎年度の進捗状況の把握・点検を行い、適時、取り組みの見直しを行っていきます。

